

早稲田大学 基幹/創造/先進理工学部 数学 講評

〔総合分析〕

出題形式	記述式
試験時間	120分
特徴・その他	

〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
[]	面積，回転体の体積	回転軸が両軸に平行でないときの回転体の体積を求める問題は古典的なものであるが，最近はあまり見られない．	標準
[]	整数問題，解の一意性	(2)不等式の条件から整数の解を絞ることが出来るかが鍵を握る．	やや難
[]	微分の定義	(4)すべての整数 n について成り立つことを利用して無限小に応用させる．昨年も4では e の定義を利用する問題が出題された．	標準
[]	確率	球の配置方法，空箱の選び方の条件を正確に重ねることが出来れば複雑な問題ではない．	標準
[]	空間座標，線分の軌跡と領域	図形定理の処理から始まり，場合分け，微積で仕上げる良問．	標準

〔総合コメント〕

<p>最近の理工学部の数学の問題は易化が進んでいたが，本年度の問題は骨組みのしっかりした良問が見られる． ， ， のうち2題に完答できれば良い．</p>
--